

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第3回）
開催日時	平成28年5月9日（月）午後2時30分から午後4時00分
開催場所	保谷庁舎 防災センター6階 講座室Ⅱ
出席者	（委員）有澤会長・松村委員・小林委員・田中委員・佐藤委員・横張委員・新出委員・中林委員・金木委員・後藤委員・小島委員・川添委員・横田委員・石川委員 （欠席）中村副会長・山崎委員 （事務局）等々力課長・近藤・石部
議題	1 副会長の選出について 2 中学校給食について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市立学校給食運営審議会委員名簿 2 ひばりが丘中学校建て替えに伴う給食室の取り扱いについて 3 図 中原小学校及びひばりが丘中学校の建替え案の内容 4 新10中給食室経費
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>出席委員14名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認。本日配付の議事録をもって、前回の記録とすることを了承。</p> <p>議題1 副会長の選出について ○会長 前副会長の市外への人事異動により、校長会代表の委員として中村千佳子校長が新委員として就任した。 副会長の後任には、校長会代表の中村委員を推薦したいがいかがか。 （「異議なし」） 本日は、公務出張中につき、事務局をして、副会長就任について同意を得てほしい。</p> <p>議題2 中学校給食について ○会長 事務局より、説明を求める。 ○学校運営課長 本日、(仮称)第10中学校の新築に伴う給食室の設置場所について、委員の意見を聴取したいが、審議委員の大半が昨年9月に交代をしていることを考え、まずは、これまでの経過と状況を簡単に説明しておく必要があると思う。 （仮称）第10中学校の建設計画は、建替協議会の意見などを踏まえ、基本設計を策定し、その中では、給食室を「多目的室」としての図面になっている。その基本設計を実施設計として策定しなければならないこともあり、本日会議を開くこととした。 建替協議会の中でも給食室を求める声は上がっており、今年の3月議会においても多くの議員から質問が出ている。さらには、昨年8月にこの審議会からも意見書の提出を受けて以来、(仮称)第10中学校の給食室のあり方についての検討を続けてきた中で、資料2にも記載の教育委員会としての一定の判断をお示ししたい。その経過等々は後ほど報告するが、3月末に平成28年度予算が成立し、6月には(仮称)第10</p>	

中学校の実施設を委託することになっているので、その前に、審議会の意見を確認できればと思う。日程的にタイトになってしまったが、よろしく審議をお願いしたい。

配付資料の説明については、事務局より行う。

○事務局 経過説明を資料に基づき行う。

今回の建替え計画については、資料3の①に記載のように、旧ひばりが丘団地の敷地の一部をUR(都市再生機構)から購入することでスタートし、既に購入済みである。ここに築55年を経過した「ひばりが丘中学校」の移転を行うことになっている。ところが、この学校区には、築56年の中原小学校もあり、この建替え計画も決定しているため、資料3の③から④に記載されているとおりに、ひばりが丘中のために新築した新10中の校舎に、中原小を一旦移転させ、その間に中原小を解体・新築、完成後に中原小は元の場所に戻り開校。中原小が移転後の新10中の校舎に、ひばり中の生徒が移転という、3つの校舎が関わる変則的な新築計画が進行している。

次に、前の期の審議会が提出した、平成27年8月の意見書の審議経過等についてだが、資料2の2番の(1)のとおりで、一旦新10中に移転する中原小学校の児童に対しての給食は、少なくとも新10中の敷地内に自校式の給食室を設置し、提供するべきというものだ。

次に(2)に記載の項だが、この段階では、市教委の立場が決まっていなかったこともあり、自校式を理想と考えつつも、同時に議論をしてきた親子給食の運営状況に大きな指摘事項も見当たらなかったため、1校だけを先行することには消極的な意見になっている。

ただし、この期の委員に限らず、歴代の運営審議委員は、総じて自校式が理想という意見に変化はない。しかし、審議会は教育委員会に対して意見を述べる立場にはあるが、予算に関する権限や最終の意思決定をする機関ではないこともあり、まとめにも記載しているとおりに、審議会の考えを斟酌して、市長と教育委員会の賢明なる判断を待ちたいという結論に至っている。

続いて、これらの意見書を受理して以降、「給食室の校舎内設置」に至った経過について説明する。

資料2の3番に記載しているとおりで、現状においても、市教委としては親子給食の経済的な優位性については揺るがないものがある。また、その安全性や満足度を確保するための準備も怠りなく継続しており、今後も中学校給食の完全実施の手段としては、親子給食を選択することに変わらない。

ただし、今回は、約2年間とはいうものの、中学の校舎を小学校が先行使用するという「特殊事情」が存在し、判断材料になった。そして、そのことが後押しになっての「校舎内設置」であり、最後の項の教育委員会の判断にも記載のとおりで、小学校のために設置する給食室だが、取壊さずにそのまま中学校でも使用していくことを結論とした。ただし、これはあくまで特例であり、この決定は、今回の建替え計画に限った内容とするもので、今後のあり方については、改めて運営審議会でも議論をお願いする事項と考えている。

次に、資料4により、新築する(仮称)第10中学校に給食室を設置した場合の経済的な比較を説明する。

資料4の1番目の施設に係る経費においては、①から③ともに、それぞれの施設を作るための建設経費は必要となるが、①の仮設の場合は、最後に撤去する費用が発生し、②の給食室を多目的室等に改装する場合も、そのための転用改修費が必要になる。これに対して、③の場合のみ、建設費以外には費用が発生しない。

これに対して、2番目のランニングコストについては、②でもわかるとおりで、年間1千万円強のコストを追加する必要があるが、1の③で生まれる建設経費の差額も、10年程度で食い潰してしまう計算になる。ただし、この試算だが、他の経費を節約す

ることや、市の職員が調理している、いわゆる直営校の職員人件費の合理化計画によって、諸々を差し引きすることなどで、今後の展望としていきたい。

どの方式を進めるにせよ、経済的なメリット・デメリットがあるため、この際、仮設の給食室を設置の上、取壊してしまうといった、感情的に受け入れ難い方式は消去し、児童生徒の安全・安心を最も重視できる方式を選択したいと考えている。

以上、資料を使つての補足説明とし、本日は、この提案についての委員各位の意見を伺い、最終的な市の方針を決定する前の判断材料とさせていただきたい。

○会長 説明は終わった。

私たちは、今の説明に基づき、教育委員会の考えに対しての意見を述べる立場にある。最初に説明に対する質問はあるか。

(「特になし」)

それでは、説明に対しての意見を求めたいが、最初は中学校の校舎に小学校が入った際の給食室の件についてだが、その間の小学生の生活に関しての意見を求める。

○委員 小学校の保護者代表という立場で意見を述べたい。小学生が中学校の校舎に入るということ自体が大変なことであるが、前回の視察でも良く理解できたことだが、安全面からは自校式が優れているようだ。給食は単に食事というだけでなく、教育の一環という視点で見ると、自校式で提供されることを強く求めたい。

事務局の説明では、実施設計の中に給食室を入れられないと工事ができないということであれば、ぜひ設計図には校舎内での設置を計画してほしい。もしも、校舎の外に仮設で作ることになると、運動場が制約されるし、学校生活上も不便になると思う。小学生は小さな子どももいるので、他校と同じ自校式で提供できる環境を整えてほしい。

○会長 給食は教育の一環である。または安全面でも管理しやすい校舎内に作って、子どもたちにとって、良い給食を提供してほしいという意見だ。

小学校の給食室については、まさにこの点に尽きると思うが、他に意見はあるか。

(「特になし」)

それでは、小学校の給食室については、校舎内に設置した給食室で、自校式で提供するという意見でまとめたいがどうか。

(「異議なし」)

次は、中原小が使った後の給食室をどうするのか、ということに対しての意見を求める。前期の委員からもさまざまな提案があったが、予算面での結論が見出せなかったために、最終的な結論は出さずに、市の考えを問うものになっている。そのことに対しては、本日の説明では、残った給食室をそのまま使用して、自校式でいけるのではないかということだ。今回のみの限定ということではあるが、いかがか。

○委員 私は、財政的に認められるのであれば、自校式でスタートしてほしい。現在の親子方式との比較で、2校別々に経費を計算すれば高くなるのは当然のことだろうが、それを市が負担するという事ならば、自校式に越したことはないと思う。

前回の試食会に参加して感じたことは、自校式で安全面が高まることや食事の温度が保ちやすいことはメリットだと思う。

○委員 今回、もし自校式にしないで親子給食を続行するとなると、作った給食室が無駄になると思うので、ぜひ自校式にしてほしい。今回は特例ということなので、他校は親子方式が続くことになろうが、他校の保護者からは公平性についての意見が出ると思うが、それでも、せつかくの機会は生かしてほしい。

○委員 私も自校式でよいと思う。西東京市が親子給食を選択した理由は、中学校側に給食室が設置できない、ということもあったと思う。今回は、特殊事情とはいえ、せつかく校舎内に給食室ができるのであれば、それは活用すべきだ。安全面で有利な自校式が財政的に担保できるのであれば、中学生にも自校式の給食を食べてほしい。

○委員 校舎内に中原小の給食室を設置し、その後には中学の自校式に使用するという案

に賛成する。

1点質問する。親子方式と比べて、年間の維持費が1千万円ほど高くなるということだが、生徒の増減で、この1千万円は変わるものなのか。

○事務局 現在の西東京市の学校で起こる程度の生徒の増減では、委託費の増減はそれほど大きくは現れない。ほぼ変化はないものと考えてほしい。

○委員 承知した。

○委員 中原小学校のために作った給食室を壊すのはもったいないので、ひばりが丘中学校は自校式が良いと思う。ただし、ひばりが丘中学校を自校式にしたことによる費用の増加が、他校の安全・安心に影響することがないようにしてほしい。

今回ひばりが丘中学校で自校式給食が始まったことによって、遠い将来であったとしても、他校でも自校式給食の実現への希望が持てると思う。

○会長 今回は1校だけが自校式になる訳だが、そこでの経済的な影響が他校に及ぶことがないようにしてほしいということと、この考え方を1校のみにとどめることがないようにしてほしい、という提案だと思う。

○委員 教育委員会の提案に賛成したい。ただ、中学校保護者の代表としては、「特殊事情」と書かれてしまうと、他校の保護者の見方は「特殊事情だから」と説明を受けても、「だから何なの」という反応になってしまうと思う。かといって、現状の校舎内に給食室を設置するとなれば、どこか大きな部屋を1つ潰して作ることで、現在の施設との兼ね合いもありナーバスな問題である。しかし、いずれは他の中学校も自校式を考えている、というような表現であれば、他校の保護者も希望が持てると思う。

○会長 ここだけを特殊事情として「後は知りません」で終わってほしくない。ひばり中が自校式になることは賛成するが、他校もいずれは自校式になるのではないかと、いう希望を絶たないでほしいという意見で良いか。

○委員 そのとおりだが、加えて、現行の親子給食は大変な点も多くあるので、そちらにも改善の手を加えてほしい。ひばり中ばかりがびかびかの給食室で安全も図られるということだけでなく、他の中学の安全にも力を入れるということであれば、反対の意見は出ないと思う。

○会長 全ての学校の安全も考えるということと、他の中学も希望が持てる意見書にしてほしいということだ。

○委員 希望が持てるという点だが、結局何もしてくれないのであれば、希望だけ持たされても仕方がない。先が見えない状況なのでどうなるのかはわからないと思うが、ここだけが特殊事情という説明はどうなのかと感じる。

○会長 財政的な状況もあるので何ともいえない部分もあると思う。

○委員 財政的と書かれても、「何で、どうして」となってしまうと思う。

○会長 せっかくの希望が打ち砕かれないように、しかも他の学校の安全・安心も守られるようにしていかなくてはならない。

○委員 あまり安全・安心と言ってしまうと、現在の給食が安全でないようにも感じられるので、施設や設備、或いは環境が過酷であることを改善すべき、という趣旨にまとめてほしい。

○会長 今の親子給食は大変な努力をしており、安心も確保されているが、このままで良いという訳でもなく、各校の努力だけで支えられるということにならないようにして欲しいという意見かと思う。

○委員 せっかく校舎内に作った施設ならば、中学でもそのまま自校式で使用してほしい。

このことは、無駄を省くという意味だけでなく、地震が多く発生し古い学校が多くなる中で、真新しい給食室がある学校はリスクマネージメントにも繋がると考えた

また、特殊事情ということで、この学校だけが特例で終わってしまうと、他校との比較の問題が出てくると思う。ただ、今までの議論でも尽くしてきたが、財政的な事情を汲み取ることも必要であり、資料2にもあるように、親子給食は継続しつつも、改めて審議するという点に期待をしたい。

この中学校で自校式がスタートすれば、生徒の教育的な変化が現れるのかも検証しつつ、審議することも可能になると思う。

- 委員 ひばり中の給食室の前提になる中原小が入校したときの給食室が、もしも仮設であったらどうなるのかということ想像してみた。校庭のどこかに作れば、児童の教室まで運ぶことになるが、風雨や降雪の日もある。現状の親子給食のコンテナも学校によってはどうしても風雨に晒されることもあり、大変に苦勞をしながら運搬しているの、校舎内であれば、それが無いというだけでも良かった。9校の親子給食校の1つでも運搬のリスクから開放されるのであれば大きな成果だと思う。

調理校は、安全な給食提供に努力しているが、運搬時点でのリスクはある。調理現場は、一人ひとりおいしい状態で届くことが希望なので、その点で安心感が高まる。献立作成時にも、調理終了から喫食までの時間が長いと時間経過後の食材の形態も考える必要もあるし、温度管理も気遣わなくてはならず、制約が多くなる。今回はこの学校だけが、1校でも献立のバリエーションが増えることはよいことだと思う。

中学校も自校式で、という要望は以前からあった。特殊事情ということなので、今後のことは別に協議が必要と思うが、まずはスタートしてほしい。

- 委員 前期の審議にも加わってさまざまな提案もしてきたが、ひばり中を自校式にするという提案に賛成である。「特殊事情」という言葉の捉え方には複雑な感情も絡むと思うが、これが、中学校の自校式給食の第一歩になるという事実が大事だと思っている。

これによって、自校式と親子方式の比較も可能になる。もちろん、比較の結果どうあれ、将来に向けて全校での自校式への道は長いものになると思う。それでも、中学校で自校式がスタートすることのメリットを良く考えた上で、賛成したい。

- 委員 ひばり中の自校式に賛成したい。西東京市の中学校給食をスタートする時点で、自校式を理想としつつも、財源的な問題から親子方式を選択したが、これは苦勞の策であったと思う。これまでの現実やこの会議の議論からも親子方式の大変さは委員全員が耳にしている。この度は、せっきくのチャンスが来たのであれば、前進することが必要だ。今回は財政的にも可能ということならば、前に進みたい。

- 委員 小学校は校舎内で提供してほしいし、その後の中学も他の委員と同じ理由で賛成だ。特殊事情については、委員ごとにさまざまな意味を含んでくると思うが、私も西東京で子育てをし、仕事をしながら子どもには弁当を持たせてきた苦勞も知っている。親の立場からは、中学でも給食があることは、バランスが取れた食事が提供されるし、ありがたいことである。

さらに、その給食が自校式になるというのであれば、なお結構なことであるので、他校にとっては長い道筋になろうが、少しでも前向きに自校式を検討してもらえるとありがたい。

- 委員 私はどうしても全体的な経費を考えてしまう。建替える学校は良いが、在籍校の校舎は老朽化し、特定の学校にのみ予算が投入されると聞くと、次はどこになるのかということを考えてしまう。

しかし、今回は給食室の運営を考えるということであり、自校式が優れていることは否定できない。

先ほど来、中学校給食の温度の問題が注目されていたが、二重食缶で届くので、冷めるといったことはないと考えてほしい。

- 会長 全員一致の点は、中原小は校舎内の自校式で調理してほしい。そうすると、中

学でも自校式がスタート可能なので、6月の実施設計では、現在は多目的室となっている部分を給食室として設計に取り掛かってほしい、ということだと思う。

今回の意見書には、新10中の実施設計に向けて、ひばり中の給食をどう考えるのかを求められている。その点への答えは、ひばり中の時にも自校式で提供してほしい、という意見にまとめたいと思う。

(「異議なし」)

そのほかには、「特殊事情」という言葉に対する考えがそれぞれ出たが、その点に関しては、いずれは教育委員会から私たちに意見を求めて欲しい、と思う。新たな議題として、今後の西東京市の給食をどうしていくのかということかと思う。その中で私たちがさまざまな意見を交わして、提案していったらどうかと思う。恐らく、その結論までには数回の議論が必要になる。

本日の結論はこの程度にしたいが、6月の実施設計を委託する前には、審議会の意見書を提出したい。大変時間が短いので、今日の議論を踏まえて、案文の調製は私と事務局にご一任いただきたいが、いかがか。

(「異議なし」)

調製した案文は、教育委員会に提出前に、皆さんにも配付したい。

次の審議会の開催日は未定だが、改めて各位の意見は聴取したい。

○委員 給食室の規模はどの程度なのか。

○事務局 基本設計での予定の場所は、450平方メートル程度だ。

○学校運営課長 短い時間の中で、有意義な意見を伺った。ご自身の関与する学校のことだけでなく、市全体、将来のことまでもを考えての議論であったと思う。

感謝したい。

先ほど会長がまとめられた意見が書面で提出されると思うので、それを元にして市長にも説明をしていきたいと思うし、教育委員会の方針も決定したい。

議題3 その他

○会長 他に意見等はないか。

(「なし」)

本日の会議は、散会とする。